





〈教材・教具・検査器具一覧〉

器具名	活用目的、方法等	備考
タイムタイマー	<ul style="list-style-type: none"> ・(小) 約20cm×20cm (大) 約30cm×30cm ・残り時間が視覚的に分かりやすい時計型の60分タイマーです。 ・はじめに設定したい時間に合わせると、赤い部分が時間の経過とともに減っていき残りの時間を知ることができます。 	
イヤーマフ	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の騒音や雑音を軽減します。 ・不快な音や声など減音することで情緒の安定を図ります。 	
表情カード	<ul style="list-style-type: none"> ・表面には表情のみ、裏面には表情とその表情があらわす気持ちの目安が記載されています。 ・カードの1枚ずつに異なった表情が描かれており、また、カード形式でサイズも小さく(9cm×12cm)、個別での対応に適しています。 ・多くの表情の中から一つを選ぶのが難しい場合には、感情のカテゴリー別に数枚を選び、2択、3択で今の気持ちを選ぶこともできます。 	
ソーシャルスキルトレーニング 絵カード	<ul style="list-style-type: none"> ・学校やその周辺で起こる様々な出来事の意味が理解できず、対処方法も分からないため、結果として、不適切な行動をとってしまう子どもたちのためのソーシャルスキル獲得のために作られました。 ・一つの場面の中に数多くの刺激や情報が盛り込まれているので、重要な意味を持つ情報を選択し、整理して、自分の取るべき行動を選択する力をつけることがねらいとされています。 	

<p>認知・言語促進プログラム（NCプログラム）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・のぞみ発達クリニックにおいて開発された発達障がい児のための指導プログラムです。 ・精神発達年齢6才までのダウン症や自閉症スペクトラム、学習障がい児など、あらゆるタイプの発達障がい児に使用でき、個別指導計画作成の資料としても活用できます。 	
<p>WISC-IV 知能検査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳0ヶ月～16才11ヶ月 ・全15の下位検査（基本検査：10 補助検査：5）で構成されており、10の基本検査を実施することで、5つの合成得点（全検査IQ、4つの指標得点）が算出されます。それらの合成得点から、子どもの知的発達の様相をより多面的に把握できます。 ・合成得点（全検査IQ、指標得点）、下位検査評価点に加えて7つのプロセス得点も算出でき、子どもの検査結果についてより詳しい情報が得られます。 	
<p>DN-CAS 認知評価システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳0カ月～17歳11カ月 ・「プランニング」(P)「注意」(A)「同時処理」(S)「継次処理」(S)の4つの認知機能（PASS）の側面から子どもの発達を捉えることができます。 ・12種類の下位検査を行う標準実施を基本として、8種類で行う簡易実施も可能です。 ・LDやADHD、高機能自閉症等の子どもたちに見られる認知的偏りの傾向を捉えることができ、その援助の手がかりを得るために有効です。 	
<p>田中ビネー知能検査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳～成人 ・子どもが興味を示すよう検査用具が工夫されています。 ・日常の生活場面で働く知能、学習的な場面で働く知能から知能を測定します。 	

※貸出等については、特別支援教育コーディネーターへお問合せ下さい。